

# 題

# 話

# の

# ち

# ま

## フアンタジーの世界に遊ぶ

子育て中のお母さんを対象にした「絵本の読み聞かせ講座」が九月十七、十九、二十一日の三日間、市立図書館で行われました。「絵本は子供が最初に出会う本。絵本の読み聞かせは親と子の心の懸け橋です」との講師の富井図書館長の話に、参加したお母さんたちは熱心に聞き入っていました。

この催しは絵本などの貸し出しが多いことから企画。図書館ではこの機会に幼児向けの絵本などの蔵書を増やし、今回参加できなかったお母さんや子供たちからも大いに利用してほしいと呼び掛けています。



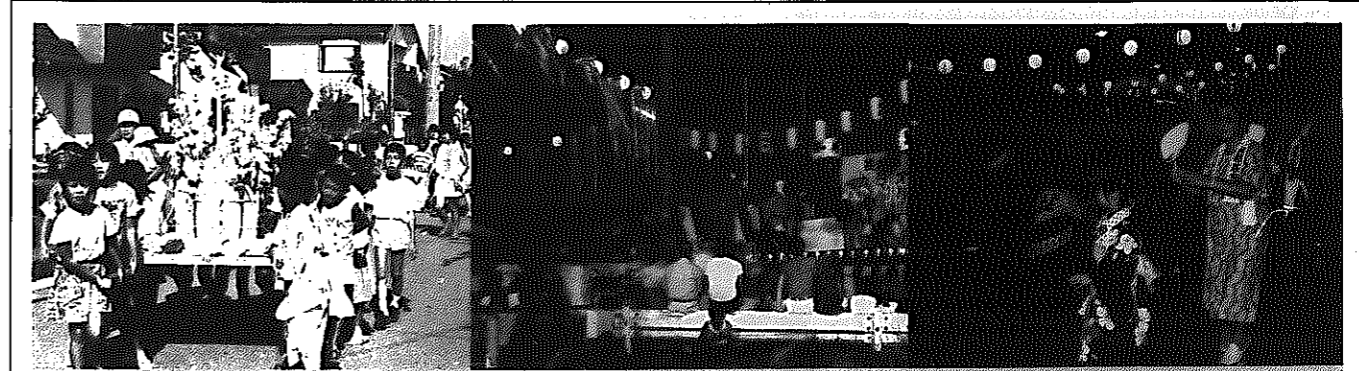
## 夏祭りいろいろ

この夏、市内ではいろいろな祭りが行われました。その中で、地域起こしに取り組み白根甚句会の皆さん、新興住宅地のふるさとづくりに取り組み大通団地と大通南団地の皆さんの祭りを紹介しましょう。

白根甚句の継承ばかりではなく、限定純米酒の発売など、独自の地域起こし活動をしている白根甚句会の皆さん。八月十六日には三の町、四の町通りで白根甚句盆踊り大会を開きました。踊りの輪に引き込む人、引き込まれる人。浴衣姿の子供も踊ります。続々と集まる家族連れの方に「表町はこれでなくちゃいけない」との声も聞かれました。

大通団地では八月十五日、第八回の大通まつりが行われました。今回は、今まで西と東を分けてきた夫婦承水溝が地盤沈下対策事業で埋め立てられることから「さよなら、夫婦承水溝」と銘打った祭りになりました。子供たちのふるさとづくりを始めたこの祭りも、すっかり定着したようです。

人口増加の著しい大通南地域。今年は大通南二丁目第一と三丁目と一緒に祭りを行いました。歌謡ショーや綱引き大会など盛りだくさんの催しが八月二十四日夜から二十六日まで行われました。近郷からも大勢の人が訪れ、にぎやかな夏の夜を楽しんでいました。



▲大通南夏まつり子供みこし ▲大通まつりカラオケ大会 ▲白根甚句会盆踊り大会

## 長く続けた村の行事

八月二十五日、真木新田でカナク堂という行事が行われました。まず、小中学生の男子が、神社の境内に青竹でお堂を作ります。大人から指導を受けながら、竹を切ったり組んだり。小さい子供はお宮の掃除です。涼しげな竹のお堂ができあがると、その中に神灯を灯し、幣束を立て、線香をたきます。夜になると神社の中で待っている子供たちが、お参りにやってきた人にお神酒のお酌をします。

小林寛さんは「中国から伝わった月に感謝する行事らしいが、長く続けた伝統です」と話していました。



## 土星の輪が見えた

夏休みの夜のひとときを親子で天体観察をしようと、理科教育センターでは八月二十二日、天体観察会を白根児童公園で行いました。

この日は、三台の天体望遠鏡を使って、土星、レディー星（ほうき星）、こと座のリング状星雲を観測しました。参加者約五十人は、真夏の星空を思う存分満喫。「土星の輪が見えた」「へー、これがほうき星か」と子供たち。理科教育センターの江口先生は「雑誌などで、人工衛星から撮影した写真を見慣れているので、ちよつとギャップがあるかもしれませぬ」と話していました。



## カルチャーセンターに花の彩り

白根造園組合（代表・神田造園）では、このほどカルチャーセンターに花壇用プランター二十個を寄贈。八月二十一日、五人の組合員の皆さんは暑い日差しの中、植栽作業に汗を流しました。

この日植えられたのは、暑さに強いというカラコエ。白いプランターには、濃いピンクやオレンジ、黄色の花々が手際良く植えられています。鮮やかな花の色はカルチャーセンターの敷石にマッチし、正面を明るく彩っていました。

これらの花々は秋口まで市民の目を楽しませてくれます。



## 丸種目の競技に快い汗

第二十一回市老人クラブ連合会大運動会が、九月九日カルチャーセンターで開催されました。今年から会場を新装なったカルチャーセンターに移動。ゆつくりと楽しめ、また親睦を深め合える運動会とするため、日程も従来半日だったものを一日に拡大しました。

当日は、各地区から四百十三人の老人クラブの皆さんが参加。魚釣り競争、玉入れ、リレーなど九種目の競技に快い汗を流しました。人気種目はゲートボール競争。日ごろ鍛えた腕の見せどころとばかりに、ハッスルプレーが続出していました。



## 国道にポプラのそよ風を

国道8号をポプラ並木にしようと、青年会議所が昨年から進めているグリーンピア・ルート8構想。八月二十六日に植樹セレモニーが行われました。今年も十五本を植栽することになっています。

この日は花いっぱい運動の協賛団体も参加。ポプラのほかに参加者全員がチューリップの球根百個を植えました。同会議所の山宮理事長は「仙台の青葉通りや新潟のケヤキ通りに負けない道にしたい」と抱負を語ります。本市の基幹である国道8号に潤いを与えるこの構想。まちづくりの起爆剤になってほしいものです。

